レセプトチェッカーLS クラウド版 簡易マニュアル

レセプトの準備	•	•	•	•	•	•	•	1
ログイン	•	•	•	•	•	•	•	1
アップロードと自	動	点	検	•	•	•	•	2
画面点検	•	•	•	•	•	•	•	5
学習機能	•	•	•	•	•	•	•	9
1. チェックデ	_	タ	の	追	加	•	•	11
2. 審査対象の	変	更		•	•	•	•	15
3. 精密点検ル	_	ル	Ø	適	応	変	更	17
印刷	•	•	•	•	•	•	•	22

注:学習機能を実行しないとレセプトチェッカーは正しく動作しません。 学習機能は必ず実行してください。

本説明書は「レセプトチェッカーLS クラウド版」の基本操作について説明したものです。

詳細な操作方法はホームページの操作マニュアルを参照してください。

レセプトの準備

直近の電子レセプトを準備します。複数の過去レセプトがあればより望ましいです。 院内処方であれば提出済のレセプトを、院外処方の場合には処方箋の内容を含んだ チェック用のレセプトをUSBメモリーあるいはハードディスクなどにいれて用意し てください。

注:チェック用レセプトの作成法はレセコンのサポート業者にご相談ください。 レセコンの機種によってはチェック用レセプトが作成できない場合があります。



ログイン

ID、パスワードを入力して、 [Login] をクリックします。



注:ブラウザはGoogle Chrome



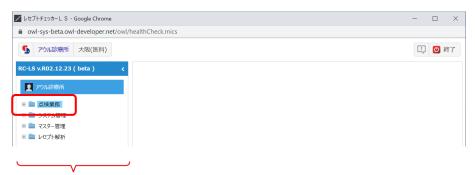
を使用してください。

スマートフォンのショートメールに確認コードが送られますので入力してください。 レセプトチェッカーLSにログインします(2段階認証)。

注: 2段階認証は初回だけです。次回からは要求されません。

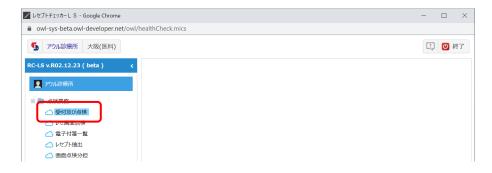
アップロードと自動点検

ログインしたら、左側のナビゲーションウィンドウの「点検業務」をダブルクリックします。

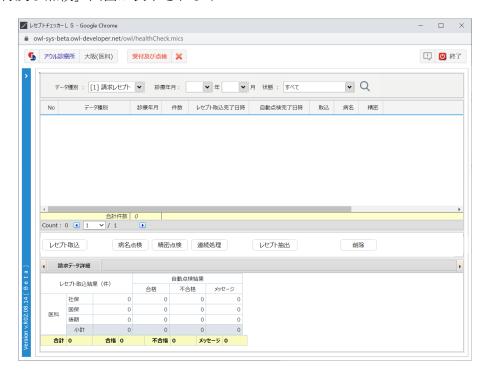


ナビゲーションウィンドウ

続けて、「受付及び点検」をダブルクリックします。



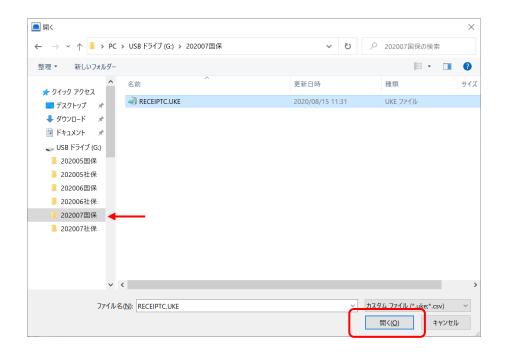
「受付及び点検」画面が表示されます



- [レセプト取込]をクリックします。取込むレセプトを選択する画面が表示されますので、
- ② [追加] をクリックします。中央のマークをダブルクリックするか、電子レセプトのファイルをドラックしても同様に追加されます。

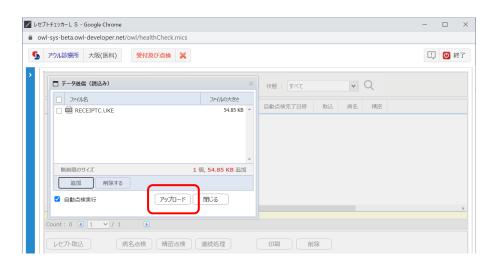


取込むレセプトを選択する画面が表示されますので、点検する国保の電子レセプト (RECEIPTC.UKE) を指定して、[開く(O)] をクリックします。

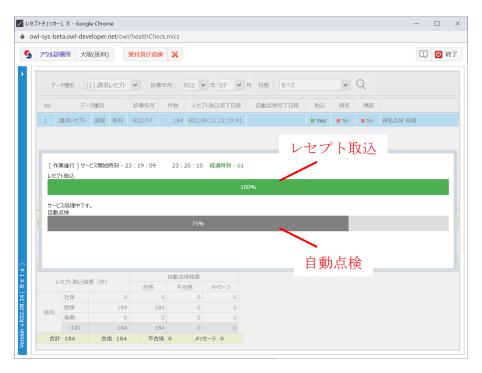


レセプトファイルが正しく取込まれていることを確認したら、[アップロード]をクリックします。

注:レセプトファイルは暗号化して送信され、サーバ上では個人情報は暗号化して 保存されます。



アップロードに続いて、レセプト取込、自動点検が実行されます。



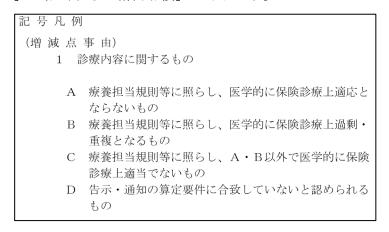
レセプト取込は、アップロードしたレセプトをデータベースに登録する作業です。 自動点検は病名点検、精密点検を連続して行う作業です。

自動点検が終わると結果が表示されます。

引き続き、社保のレセプトを同様に処理します。

画面点検

自動点検には「増減点事由のA」(病名漏れ)に対応する「病名点検」と「増減点事由のBからD」に相当する「精密点検」があります。



自動点検の結果を目視で確認する作業が画面点検です。

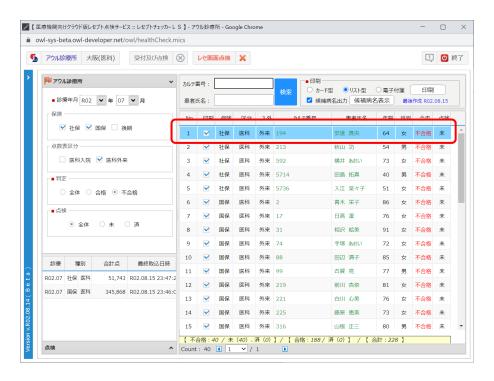
レセプトの取込、自動点検が終わったら、左上の > をクリックして、ナビゲーションウィンドウを開きます。



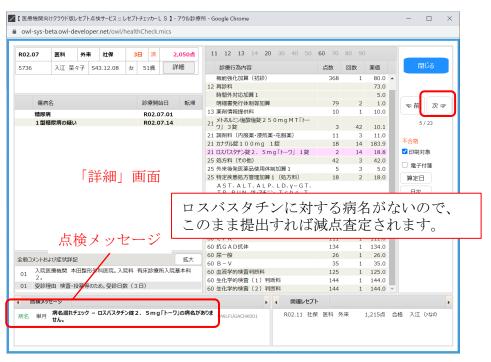
ナビゲーションウィンドウが開いたら、「レセ画面点検」をダブルクリックします。



不合格レセプトのリストが表示されます。患者氏名をダブルクリックします。



左側に傷病名、右側に診療行為、医薬品が表示されます。この画面を「詳細」画面と呼びます。



画面左下の点検メッセージ欄に不合格と判定された診療行為、医薬品の名称と不合格内容が表示されます。該当する診療行為、医薬品は色(ピンク、橙色)がついて区別されます。

画面を確認したら、 をクリックして次のレセプトに移動します。

● 薬価判断

注:初期状態では薬価が7円以上の医薬品について病名漏れ点検を行います。 7円未満の医薬品は適応病名がなくても無条件に合格と判定します。

7円未満の医薬品も病名漏れ点検の対象としたい場合には、 「情報管理」画面で「薬価判断」のチェックを外してください。

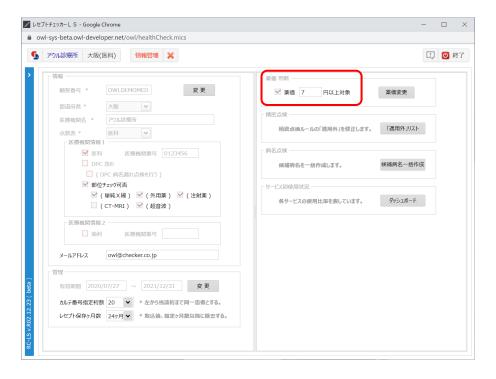
<薬価判断のチェックの外し方>

ナビゲーションウィンドウの「システム管理」の「情報管理」をダブルクリックします。

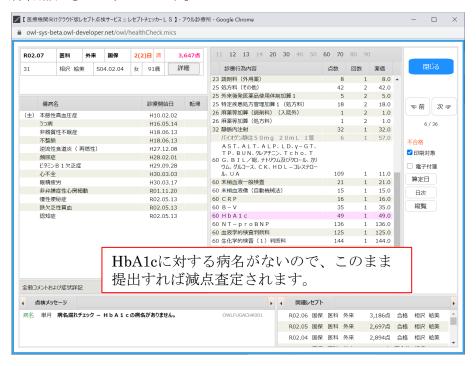


「情報管理」画面が表示されます。

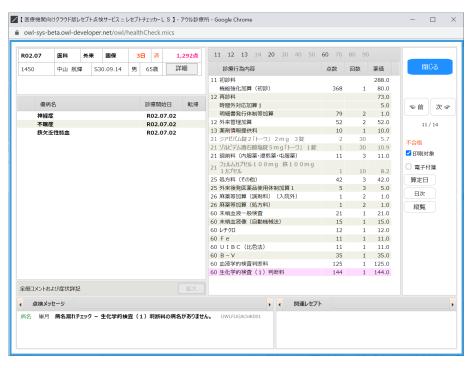
「薬価判断」のチェックを外すと7円未満の医薬品も病名漏れ点検の対象とします。



検査の病名漏れもチェックします。



セット検査は「生化学的判断料I」に対して適応病名の有無を判断します。



学習機能

最初にレセプトを自動点検した結果には、実際は審査に通るにもかかわらず不合格 と判定されたレセプトが多く含まれています。



審査に通るレセプトは合格と判定されるように設定を変更する必要があります。

レセプトチェッカーLSは医師、医療事務 が画面点検を行いながら効率的に設定を 変更していきます。

この機能を「学習機能」と呼びます。







減点査定

学習機能により本当に不合格のレセプトだけを選び出せるようになります。



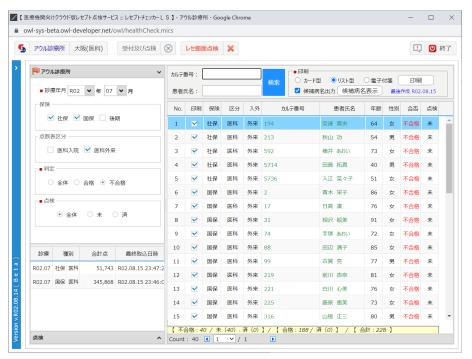
注:「学習機能」を実行しないとレセプトチェッカーLSは正常に動作しません。

学習に要する時間は処理するレセプト件数にもよりますが、診療所で1時間程度、 病院でも数日で完了します。

少し面倒かもしれませんが、必ず実行してください。

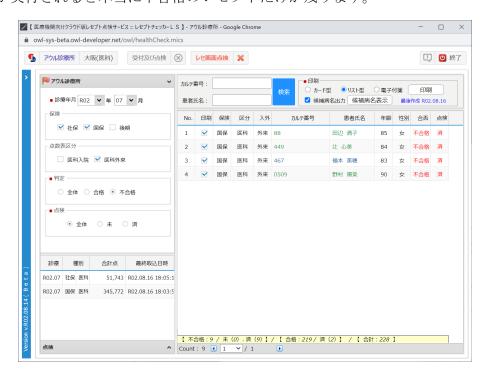
学習前

導入して最初にレセプトを自動点検すると沢山の不合格判定がでるのが普通です。 この中には合格を不合格と誤判定しているレセプトが多く含まれます。



学習後

学習が実行されると本当に不合格のレセプトだけが残ります。

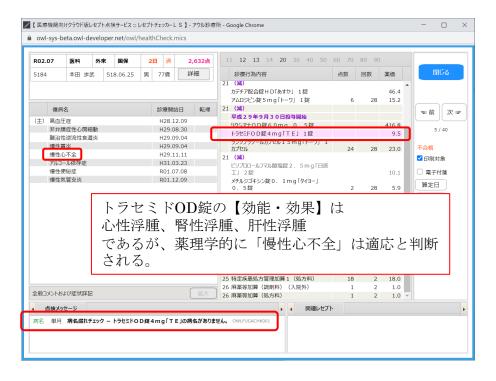


「学習機能」には病名点検の「チェックデータの追加」「審査対象の変更」、精密 点検の「適用の変更」があります。

1. チェックデータの追加

レセプトチェッカーLSでは医薬品、検査ごとにチェックデータと呼ばれる文字列が設定されています。この文字列を含む病名があれば「適応病名あり」、なければ「適応病名なし」と判定します。

自動点検で不合格と判定されたレセプトの「詳細」画面を示します。



点検メッセージには「病名 単月 トラセミドOD 錠4mgの病名がありません」と表示されています。しかし、トラセミドはループ利尿剤であり、実際には「慢性心不全」という適応病名があるので審査は通ります。

トラセミドOD錠4mgの設定を変更する必要があります。

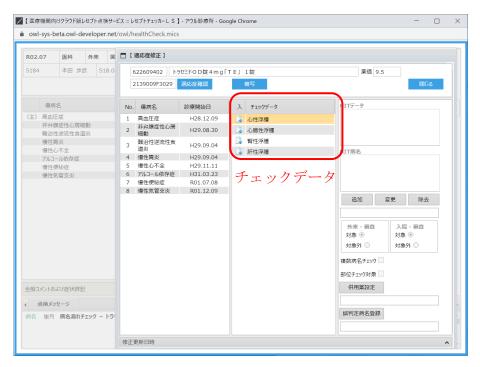
このような場合には、ピンクで表示されているトラセミドOD 錠4mgの行をダブルクリックします。

ダブルクリックすると、トラセミドOD 錠4mgの「適応症修正」画面が表示されます。

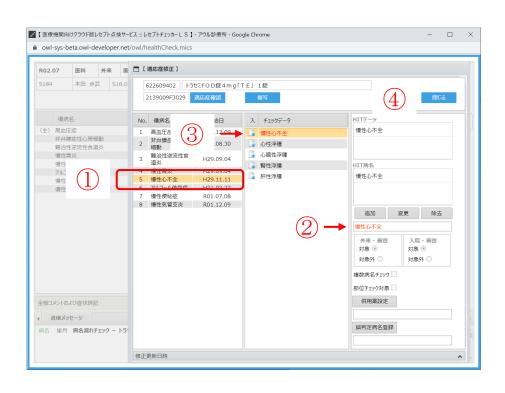
点検メッセージをダブルクリックしても同様に「適応症修正」画面が表示されます。

注:都道府県によっては「慢性心不全」で審査が通らない場合もあります。

トラセミドOD錠4mgの「適応症修正」画面です。

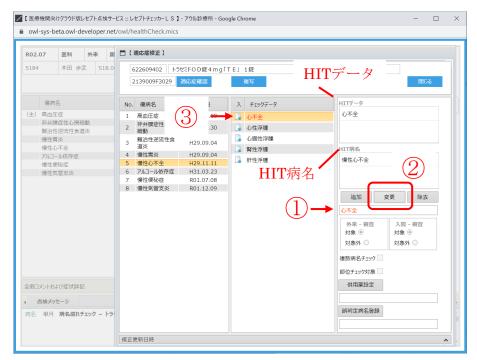


- ① 傷病名欄の「慢性心不全」をダブルクリックします。
- ② 入力欄に「慢性心不全」の文字列が入り、
- ③ チェックデータに「慢性心不全」が追加されます。
- (4) [閉じる] をクリックするとチェックデータの追加が確定します。これでレセプトチェッカーLSはトラセミドOD錠4mgは「慢性心不全」で審査を通ると学習しました。



[閉じる] で確定する前にチェックデータを変更することもできます。

- ① 入力欄の「慢性心不全」をキーボードから「心不全」に変更し、
- ② [変更]をクリックすると、
- ③ チェックデータの「慢性心不全」も「心不全」に変わります。



傷病名欄の病名に含まれるチェックデータを「HIT データ」と呼び、HIT データ欄に表示されます。

チェックデータを含む病名を「HIT 病名」と呼び、HIT 病名欄に表示されます。 HIT 病名があれば「適応病名」あり、HIT 病名がなければ「適応病名」なしと判定 します。

①~③の操作により、HITデータに「心不全」、HIT 病名に「慢性心不全」が表示されます。

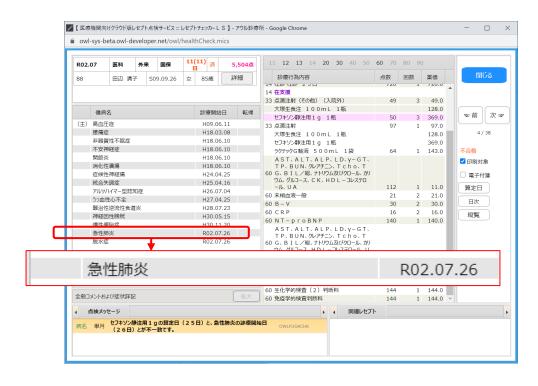
これで「慢性心不全」だけでなく、「心不全」を含む病名、例えば、「うっ血心不全」や「急性心不全」もトラセミドOD 錠4mgの適応病名と判定し、合格と判定するようになります。

注:医薬品は疑い病名をHIT病名の対象としません。 検査は疑い病名もHIT病名の対象とします。 「詳細」画面にもどったら、 🏗 をクリックして次のレセプトへ移動します。



自動再点検が実行されるので、少し時間がかかります。自動再点検は変更されたチェックデータをもとに行われます。

次のレセプトが表示されます。

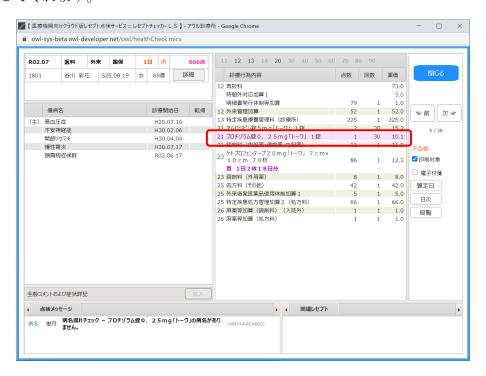


「急性肺炎」の病名があるのに、**セフキソン静注用1g**が不合格になっています。これはチェックデータのせいではなく、**セフキソン静注用1g**の算定日が7月25日なのに、「急性肺炎」の診療開始日が翌日の7月26日になっているためです。レセプトチェッカーLSはこのように算定日と診療開始日の不一致も検出することができます。

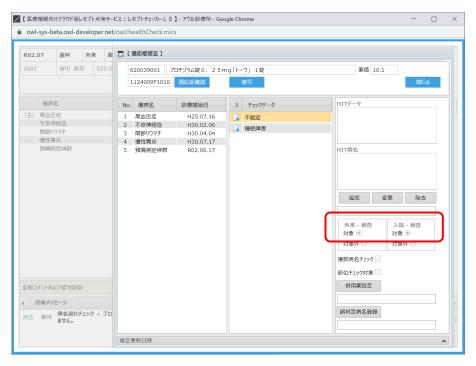
2. 審査対象の変更

次のレセプトの「詳細」画面です。「病名 単月 ブロチゾラム錠 0.25 mg 「トーワ」の病名がありません」とメッセージが表示され、不合格に判定されています。

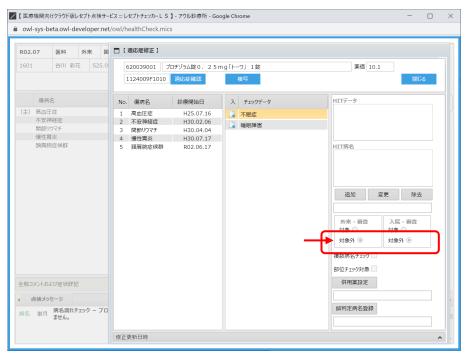
確かに**ブロチゾラム錠**0. 25mg 「トーワ」の適応病名はありませんが、都道府県によっては、**ブロチゾラム錠**0. 25mg のような睡眠薬は病名がなくても審査を通してくれます。



ブロチゾラム錠0.25mg「トーワ」の行をダブルクリックして「適応症修正」 画面を開きます。審査対象は外来、入院ともに「対象」になっています。

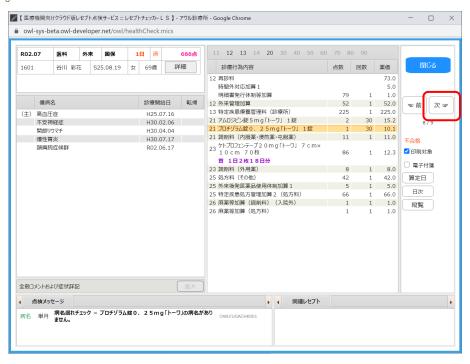


審査対象を「対象」から「対象外」に変更します。



これにより、**ブロチゾラム錠0.25mg「トーワ」**は審査対象外となり、病名がなくても「合格」と判定されるようになります。

[閉じる] で画面を閉じ、「詳細」画面の 次マをクリックして次のレセプトへ移動します。

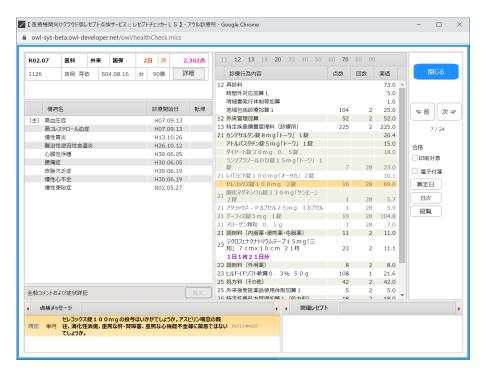


自動再点検が実行されるので、少し時間がかかります。自動再点検により、残りの不合格レセプトに**ブロチゾラム錠0.25mg「トーワ」**が含まれていれば、不合格が合格の判定に変わります。

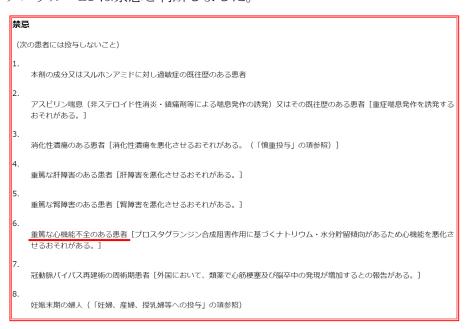
3. 精密点検ルールの適用変更

セレコックス錠100mgが不合格になっています。

点検メッセージは「精密 単月」となっています。精密とは精密点検による不合格の意味です。メッセージの内容は「アスピリン喘息の既往、消化性潰瘍、重篤な肝・腎障害、重篤な心機能不全等に禁忌ではないでしょうか」です。



確かに添付文書によれば、**セレコックス錠100mg**は「重篤な心機能不全のある 患者」には禁忌となっています。このレセプトでは「心臓性浮腫」があるので、レ セプトチェッカーLS は禁忌と判断しました。

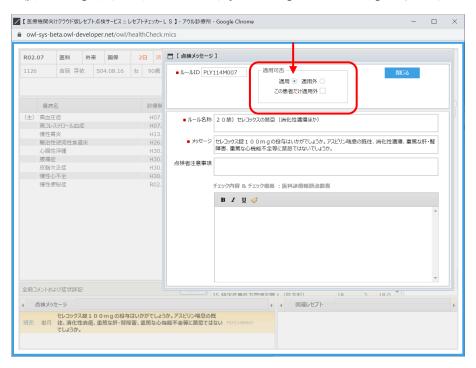


しかし、実際はそこまで厳密ではなく、都道府県によっては「心臓性浮腫」があっても**セレコックス錠100mg**は通ります。

このような場合には、点検メッセージをダブルクリックします。



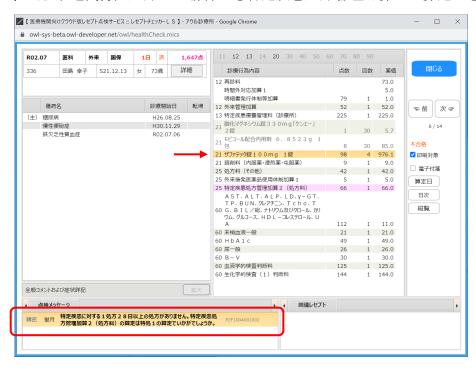
「精密点検ルール」画面が表示されます。「適用」を「適用外」に変更すると、





この精密点検ルールは適用されなくなり、以後、「心臓性浮腫」があっても**セレコックス錠100mg**は通ると判定するようになります。

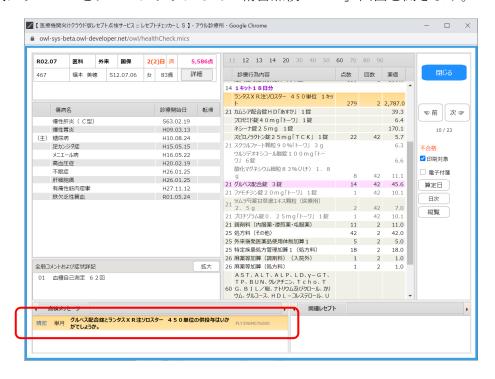
「特定疾患処方管理加算2に対応する28日以上の処方がない」として不合格になったレセプトです。しかし、**ザファテック錠100mg**は週1回服用する糖尿病の治療薬で、4錠(4週間分)処方した場合でも特定疾患処方管理加算2が算定できます。



このような場合には、点検メッセージをダブルクリックして「精密点検ルール」画面を開き、「この患者だけ適用外」にチェックを入れます。

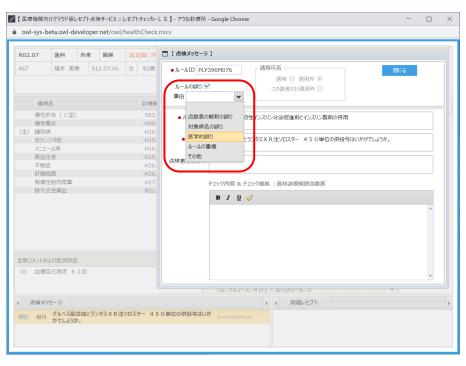


これにより、この患者については、この精密点検ルールが適用されなくなります。 この患者以外については、この精密点検ルールは適用されます。 精密点検ルールに明らかな誤りがある場合の処理です。 点検メッセージをダブルクリックして「精密点検ルール」画面を開きます。

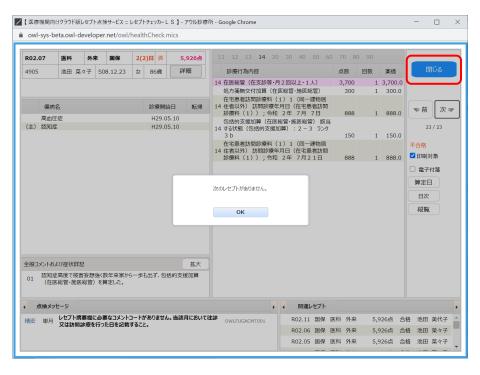


「ルールの誤り」にチェックを入れ、誤りの事由を選択します。 このルールは自動的に「適用外」になります。

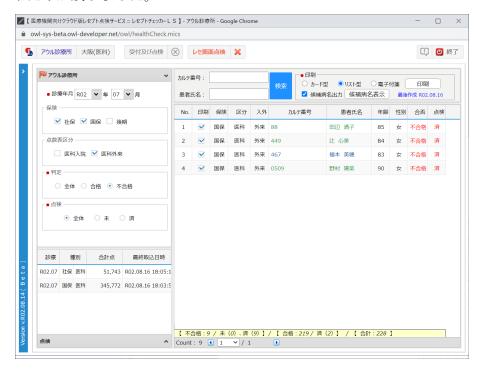
<ルールの誤りの指摘はレセプトチェッカーLSの精密点検ルールのメンテナンスに参考にさせて頂きます>



画面点検、学習機能を実行し、最後のレセプトまできたら[閉じる]をクリックします。



自動再点検が実行され、不合格レセプトの数は少なくなりました。本当に不合格のレセプトだけが残りました。



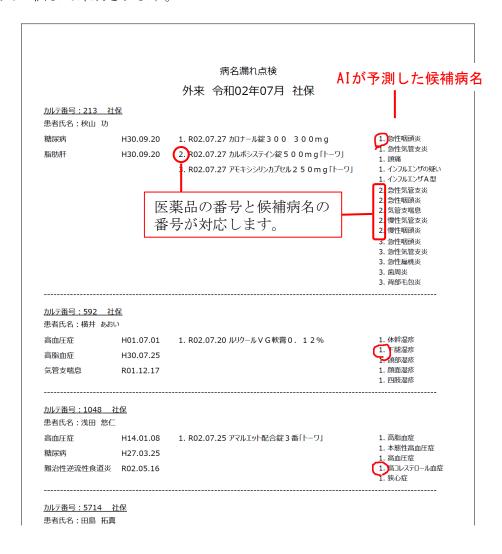
過去のレセプトがあれば、同様の操作を過去のレセプトについても行います。 学習の対象となるレセプトの数は次第に少なくなります。

印刷

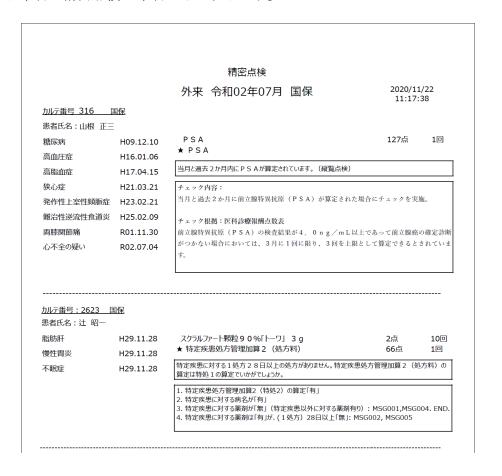
右上の[印刷]をクリックすると不合格レセプトが印刷されます。



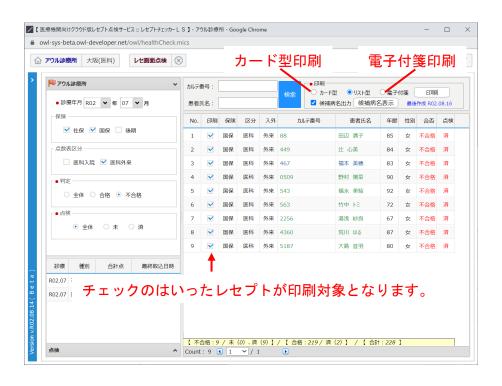
病名漏れ点検のリスト印刷のレイアウトです。右側にはAI(人工知能)が予測した、漏れていた病名の候補が印刷されます。医師は候補病名の中から実際に漏れていた病名に○をつけて事務に渡します(該当する病名がなければ手書き)。候補病名は最大で5個まで印刷されます。



リスト印刷の精密点検の印刷レイアウトです。



用途に応じてレイアウトを切り替えて印刷します。



注:レセプトチェッカーによる判定の結果生じた返戻、減点、査定につきましては 責任を負いかねますのでご了承ください。

レセプトチェッカーLS クラウド版 一簡易マニュアルー

2021年1月2日

■レセプトチェッカーLS

- □開発・販売 イノルールズAI株式会社
- □医学監修 長崎県保険医協会

■お問い合わせ

INNORULES AI イノルールズAI株式会社

イノルールズ AI

サポートデスク

〒105-6021 東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー21F

TEL: 0120-734-984 FAX: 03-6821-0209

E-mail: rc-support@innorules-ai.com

ホームページ: https://receipt-checker.innorules-ai.com/